

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和 8 年度特殊車両通行許可関連システム構成検討業務
業 務 概 要	・ 特車制度の現状分析及び課題抽出：一式 ・ 対応方針（案）の検討：一式 ・ 審査現場へのヒアリング：一式
契約担当官等の氏名並びにその 所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 九州地方整備局長 垣下 禎裕 福岡市博多区博多駅東 2－10－7
契 約 年 月 日	令和 8 年 8 月 4 日
契 約 業 者 名	KPMG コンサルティング（株）
契 約 業 者 の 住 所	東京都千代田区大手町 1－9－7
契 約 金 額	59,983,000 円（税込み）
予 定 価 格	59,983,000 円（税込み）
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	九州地方整備局管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間（自）	令和 8 年 8 月 5 日
履 行 期 間（至）	令和 9 年 2 月 26 日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 令和8年度特殊車両通行許可関連システム構成検討業務
2. 履行場所 九州地方整備局管内
3. 契約の相手方 住所 : 東京都千代田区大手町1-9-7
会社名 : KPMGコンサルティング株式会社
電話 : 03-3548-5111
4. 契約適用法令 会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、特殊車両通行許可・確認制度（以下、「特車制度」）の需要増に伴う審査日数縮減等に向けた対策や、データ連携等の高度化等を実施すべく、現状の特車制度の業務・システムの現状分析を行ったうえで、課題整理を通じて、特車制度の業務効率化・高度化に向けた「業務・システム将来像」を策定し、その実現に向けたロードマップを取り纏めるものである。

2) 業務の内容

1. 特車制度の現状分析及び課題抽出
2. 対応方針（案）の検討
3. 審査現場へのヒアリング

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を21者が入手（ダウンロード）し、3者から参加表明書、2者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、実施方針及び評価テーマ「システムの抱える課題を効果的に分析する手法の着眼点」「システムの刷新、移行において考慮すべき留意点」に係る技術力を備えていると判断される。

特に評価テーマの「システムの抱える課題を効果的に分析する手法の着眼点」に対する技術提案について、着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理されているとともに、説得力がある内容が十分に示され、総合的に最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)
道路部 交通対策課長